

# 効率化と持続可能性を実現する

# 早道

ハイブリッドワークが普及した現代、信頼性の高いデータセンター インフラストラクチャがあれば、チームの生産性を高く保つことができます。そこで、Penske Australia社は、コロナ禍における復元力と持続可能性を高めるべく、シスコの力で IT 環境の変革を図りました。

高パフォーマンスを実現する早道をご紹介します。

## サーバーをシンプルに

Penske Australia 社はデータセンター インフラストラクチャを刷新することによってアプリケーションを高速化し、ディザスタリカバリ機能を高めました。サーバーとワークステーションは、数分どころか数秒で起動できるようになっています。効率の高いテクノロジーを導入したことで、ビジネスでのエネルギー消費量も減りました。

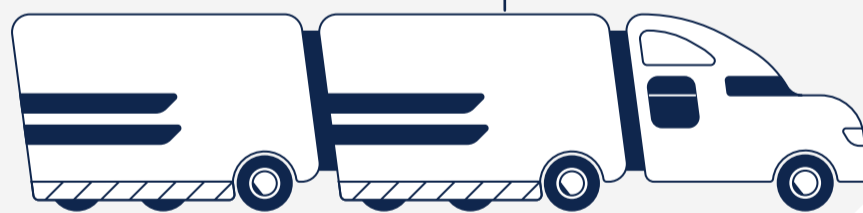


## チームの接続を維持

シスコのテクノロジーを使用すれば、1 週間足らずでオフィス以外にバーチャルデスクトップ環境を構築できます。これにより、コロナ禍の初期の時点で 300 人ほどの従業員のテレワークを実現しました。毎日通勤する必要がなくなったことで、チーム全体の二酸化炭素排出量も減少しました。

## 経済的で、環境にもやさしく

インフラストラクチャをシンプルにしたことで、データセンターのラック台数は 56 台から 24 台に減りました。その結果、電力消費量や冷却の必要性が減少したほか、テクノロジーの利用に伴うライセンス料も削減できました。



200

台の仮想サーバーの  
利用によりハードウェアの  
必要数を削減

データセンターの  
ラック台数を

57%

削減

プラチナ

ランクの電源装置

## バリューチェーン全体のサステナビリティに関するシスコの優位性



1

### 調達

環境への影響を減らすように設計されたテクノロジー

Cisco HyperFlex® System

2

### 運用

テクノロジーの最適化によるエネルギー効率

Cisco Workload Optimization Manager, Cisco Intersight® SaaS システム管理プラットフォーム

3

### 廃棄

廃棄するまで責任を持ってテクノロジーを管理

循環型経済に対するシスコのコミットメント